



ドローンで消火に遅れ！

—西日本防災システム

2015 10 12

日本でも早く規制か対策を考えた方がいいのでは？

火災現場に飛んでいたドローンの影響で消火活動に遅れが出る問題が頻発しているカリフォルニア州南部の街サンバーナーディーノが、消火活動を妨害したドローンに3件合わせて7万5000ドルの懸賞金をかけることを発表したそうです。1件300万円
アメリカでは現在、火災現場に飛ばされる野次馬ドローンによって、消火活動が遅れる問題が続出しているようです。

大規模な火災では消火用航空機などを用いた空中消火が行われますが、ジェットエンジンにドローンが巻き込まれて飛行機そのものが墜落する可能性があるため、飛行機近くのドローンは大変危険な存在になります。

さらに現在の法律では緊急時でもドローンを破壊することはできないため、その結果として消火活動に遅れが生じて被害が拡大してしまうという問題につながっているようです。

サンバーナーディーノでは今年3度もこうした事件が発生していて、野次馬ドローンの操縦者を発見した人にそれぞれ2万5000ドルの礼金を出すことを決めたそうです。また、消火活動を妨げたことでどなたかの死につながった場合、ドローンの操縦者は殺人で起訴される可能性もあると厳しく警告しているようです。当然です！！



西日本防災システム

NISHINIHO BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 